

R5年度決算審査を通して、皆さんにお知らせしたいこと

道路照明が暗い!?

地域の方との懇談会で、「道路の街灯が間引きされていて危険ではないか」との話を聞きました。早速、調べてみました。

街灯の総数	8,700
間引きしている街灯	609
時間短縮している街灯	401

全体の街灯の11・6%を間引きしている計算になります。

市の財政が大変と蝦名市長が取り組んだのが財政健全化プラン。その一つが道路照明の間引きでした。

「財政も好転したのだから、街灯の間引きをやめろべきではないか」と質問すると、「財政健全化プランはR8年度までの計画。そ

れまでは間引きは続けた。その後どうするかはまだ決まっていない」と答弁。一刻も早いすべての点灯が待ち望まれます。

公園遊具のその後

また、昨年の決算審査

で質問した公園の「壊れて使用中止としている遊具」の修繕状況を確認。修繕・取り換え22件、撤去6件、未対応件25件（それ以降、新たに使用中止に



したものを除く）であることがわかりました。

給水停止を再開

水道料金の未払いが続くと、給水停止、水道を止めてしまいます。では、給水停止を増や



すと収納率がよくなるのか、その相関関係がどうなっているか質問。監査委員は「判断するのは難しい」と答え、上下水道部は、「この間の未収金でいうと、過年度分は少しずつ減り、現年度分は横ばい。給水停止の件数は年によって大きく変動しており。極端に件数を増やせば別かもしれないが、給水停止件数と未収金額に関連は見えない」と答えました。



そして、誰もいなくなった？ 観光人材確保・育成事業

地域おこし協力隊員4人を採用し、アイヌの刺繍やムックリの作製を学んでもらって、それをSNSで発信したり、観光客に教えたり。これを3年続けてもらい、アイヌ文化の担い手に育てていく。こうした目的で5年度に始めた「観光人材確保・育成事業」。

しかし、最初からつまづき、4

回の募集を繰り返しても、正式採用は一人だけ。二人はお試し雇用（インターン）が終わると辞退。正式採用の方も1年で退職。

事業継続が不可能となりました。目的は支持できるものですが、細部の詰めもせずに見切り発車して失敗させてしまった市の対応は問題です。

